

こども川柳年間優秀作品

入選作品

■最優秀賞

お日さまは みんな笑顔に しとくまる

伊野小5年 野村 菜月

■優秀賞

夏休み どこに行こう もどって来い

川内小5年 山本 翔

もみじさく 夏の終わりの サイレンド

下八川小6年 津賀 昂大

音楽会 なかよくやれば 大成功

枝川小5年 田中 愛深

■入選

傘さすと だんだん雨が ふえてくる

神谷小6年 浜田 大河

木の葉さん 秋と冬には 服ぬぐよ

下八川小3年 筒井みなみ

音楽は 心と心の ハーモニー

伊野小5年 加地 茜

夏はいい おまつりあるし 海もいい

伊野小3年 鎮田 葵

おりづるに 平和ねがって おどろく

川内小5年 山本 貴子

ダイアト 母のくちぐせ 明日から

伊野小6年 植村 風音

※学年は、平成21年度中のものです。

選評

最優秀、さらりと詠んで、みんなの心に幸せを運んでくれる作品で素晴らしい。

優秀1、「早くも過ぎた夏休み「どこへ行った」、もう少し休みが欲しい」「もどってこい」の言葉づかいで気持ち伝わった。優秀2、「花がさくように」「もみじさく」季節の移り変わりを「サイレン」と。優秀3、「なかよく」やれば気持ち一つになりリズムにも乗れると言っている。

入選1と2は、「傘と雨音」「服をぬぐ」の言葉の違いの対比がよい。入選4は3年生の率直な夏休みでの家族との海、古里の祭りなど楽しさいっぱい。入選3、5は完成度の高い表現力、大きな心の広がりがある。入選6は、子は親の背を見て。お父さんも、お母さんもよく観察をされていることにご注意。

その他にもたくさん賞に採りたい表現力のある作品がありました。皆さん素晴らしい感性で今後が楽しみです。※広報に掲載された年間優秀作品は、漣川柳会のみなさんに互選、選評をいただきましした。紙面をもつて厚くお礼申し上げます。

※「こども川柳」は、22年度も町内全小学校の児童のみなさんを対象に募集します。たくさんのお応募を待ちしています。(応募は学校を通じてお願いします。)



言語リハビリ教室参加者及びボランティア募集

町では言葉に障害を受けた人々が、同じ言葉の障害を持つ仲間と交流し、地域で生き生きと暮らすために言語リハビリ教室を月1回(2時間)開催しています。対象は脳卒中の後遺症である失語症や発音障害など言葉やコミュニケーションに障害のある人々です。活動内容は言語聴覚士の指導のもと、参加者の希望によりスポーツ、工作、料理、言語ワークなど様々な創作活動や生活体験活動を行っています。必要な方にはリフトカーによる送迎も行っています。

また教室では、参加している言語障害者に対し、話し相手になることや援助することなどのボランティアもあわせて募集しています。

教室への参加希望の方やボランティアに関心のある方は下記へお問い合わせください。

問い合わせ ほけん福祉課(すこやかセンター伊野内) ☎ 893-3811

男女共同参画社会に向けて

～こんな言葉の意味を知っていますか?～



その3

男女共同参画に関わる言葉について今回は「ドメスティックバイオレンス」についてご紹介いたします。男女共同参画社会に向けて一緒に考えてみませんか?

「ドメスティックバイオレンス(DV)」【配偶者間の暴力】

ドメスティックバイオレンスとは、配偶者や内縁関係にある人に対して振るわれる暴力のことです。暴力には、殴る、蹴る等の身体的暴力に限らず、精神的暴力など様々な形があり、暴力は繰り返され、エスカレートしていきます。

また、DVは大人だけの問題ではなく、付き合っている若者の間で起こるDV(デートDV)もあります。例えば、携帯電話をチェックしたり、友達と一緒にいても「すぐに帰れ」などと行動を制限し支配したりすることはDVにつながります。

DVの背景には、「女性は男性に従うもの」といった女性を男性より低く見る社会意識や性別による固定的な役割分担意識・社会の慣行、男女間の経済的格差なども関係しているとされ、男女共同参画社会の実現のためには克服をすべき重要な課題となっています。

私たちの身近なところでも暴力の被害は起こっています。内閣府調査では、既婚者の10.8%が、身体的、心理的攻撃、性的強要のいずれか1つでも受けたことが何度もあったと答えています。もし、あなたや周りの人が暴力で悩んでいたなら、勇気を持って下記へご相談ください。

高知県女性相談支援センター ☎ 833-0783